

2018年3月10日

JRC 2018／パシフィコ横浜にて4月12日～15日まで開催

JRC2018 は、日本医学放射線学会総会・日本放射線技術学会総会学術大会・日本医学物理学会学術大会の3学会と国際医用画像総合展からなる毎春恒例のイベント。3学会とも4月12～15日の4日間、パシフィコ横浜会議ホールで開催する。

3学会と国際医用画像総合展のメインテーマは「夢のような創造科学と人にやさしい放射線医学－Innovative Science and Humanism in Radiology」。

JRC2018 の合同企画は、特別講演として田中耕一氏（ノーベル賞受賞者・島津製作所）が、「分析と医用の融合によるヘルスケアへの新展開のために」について語る。

日本医学放射線学会総会のシンポジウムは、「肝胆膵領域の画像診断：良悪性疾患の鑑別を中心に」、「融合画像の最前線」、「定量画像の標準化」、「PET による認知症イメージング」、「乳癌の診断における各モダリティの特徴と役割分担」、「新専門研修時代の放射線治療医育成を考える」、「小児脳神経発達におけるアップデート」、「CT、MRI、核医学を用いた冠循環予備能の評価」、「全身拡散強調画像の歴史と発展」などが行われる。

2018 国際医用画像総合展（ITEM2018）は、4月13～15日の3日間にわたり、厚生労働省・経済産業省・日本医師会・神奈川県医師会・横浜市医師会・日本医学会・日本医療機器産業連合会・横浜市が後援し、パシフィコ横浜の展示ホールで開催され、画像診断機器や放射線治療機器、および医用画像システムなどを中心に167社が出展する。

以上